

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 11 月 8 日(2022.11.8)

【公開番号】特開 2021-29773(P2021-29773A)

【公開日】令和 3 年 3 月 1 日(2021.3.1)

【年通号数】公開・登録公報 2021-011

【出願番号】特願 2019-155177(P2019-155177)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 2 0

A 6 3 F 5/04 6 5 3

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 10 月 28 日(2022.10.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を備え、
前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、該表示結果に応じて入賞が発生可能なスロットマシンにおいて、

通常区間から有利区間に制御可能な有利区間制御手段と、

前記有利区間において有利度の異なる複数種類の状態に制御可能な状態制御手段と、
を備え、

前記複数種類の状態は、有利状態と、第 1 割合で前記有利状態に制御される第 1 状態と
、前記第 1 割合よりも高い第 2 割合で前記有利状態に制御される第 2 状態と、を含み、

30

前記第 1 状態において前記有利区間が終了し、前記通常区間に制御した後、再度前記有利区間に移行した場合に前記第 2 状態に制御し、

前記第 1 状態において特定条件が成立した場合に前記有利状態に制御するか否かを判定し、

前記第 1 状態において前記特定条件が成立して前記有利状態に制御する旨が判定された場合に、前記有利区間を継続させて前記有利状態に制御し、

前記第 1 状態において前記特定条件が成立して前記有利状態に制御しない旨が判定された場合に、前記有利区間を終了させ、前記通常区間に制御し、

前記第 1 状態において前記特定条件が成立した可能性を示唆する特定条件示唆演出を実行可能であり、

40

前記第 1 状態において前記特定条件が成立したことに基づいて前記有利状態に制御されるか前記第 2 状態に制御されるかを示唆する特定演出を実行し、

前記特定演出の実行期間は、前記特定条件示唆演出の実行期間よりも短く、

前記第 1 状態において前記特定条件が成立した場合に、前記特定条件が成立した旨を報知する特定条件成立報知を実行し、

前記第 1 状態において前記特定条件が成立した場合において前記有利状態に制御しない旨が判定され、前記有利区間を終了させる場合に、前記特定条件成立報知が実行された後、所定期間が経過するまで前記有利区間を継続させる、スロットマシン。

【手続補正 2】

50

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

請求項1のスロットマシンは、
各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を備え、
前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、該表示結果に応じて入賞が発生可能なスロットマシンにおいて、
通常区間から有利区間に制御可能な有利区間制御手段と、
前記有利区間において有利度の異なる複数種類の状態に制御可能な状態制御手段と、
を備え、
前記複数種類の状態は、有利状態と、第1割合で前記有利状態に制御される第1状態と、
前記第1割合よりも高い第2割合で前記有利状態に制御される第2状態と、を含み、
前記第1状態において前記有利区間が終了し、前記通常区間に制御した後、再度前記有利区間に移行した場合に前記第2状態に制御し、
前記第1状態において特定条件が成立した場合に前記有利状態に制御するか否かを判定し、
前記第1状態において前記特定条件が成立して前記有利状態に制御する旨が判定された場合に、前記有利区間を継続させて前記有利状態に制御し、
前記第1状態において前記特定条件が成立して前記有利状態に制御しない旨が判定された場合に、前記有利区間を終了させ、前記通常区間に制御し、
前記第1状態において前記特定条件が成立した可能性を示唆する特定条件示唆演出を実行可能であり、
前記第1状態において前記特定条件が成立したことに基づいて前記有利状態に制御されるか前記第2状態に制御されるかを示唆する特定演出を実行し、
前記特定演出の実行期間は、前記特定条件示唆演出の実行期間よりも短く、
前記第1状態において前記特定条件が成立した場合に、前記特定条件が成立した旨を報知する特定条件成立報知を実行し、
前記第1状態において前記特定条件が成立した場合において前記有利状態に制御しない旨が判定され、前記有利区間を終了させる場合に、前記特定条件成立報知が実行された後、所定期間が経過するまで前記有利区間を継続させることを特徴としている。
この特徴によれば、有利区間において有利状態に制御される割合が相対的に低い第1状態において特定条件が成立した場合には、有利状態に制御するか否かが判定されるとともに、有利状態に制御しない旨が判定された場合でも、その後有利区間が終了し、通常区間に制御した後、再度有利区間に移行することで第2状態に制御されるので、第1状態において特定条件が成立することによる興趣を高めることができる。
また、特定条件成立報知が実行された後、有利状態に制御されず、有利区間が終了し、通常区間に制御される場合でも、所定期間が経過するまでは有利区間が継続するので、有利状態に制御されることを期待させることができる。

10

20

30

40